

(別表第1の4)

目標達成計画

事業所名 アンダンテ

作成日: 令和 2年 12月 5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	9	・利用者様一人ひとりの「その日したいこと」を把握し、それを叶える努力はしているが、十分とは言えないので、継続して努力し続ける必要がある。 ・利用者様が日々の暮らしの様々な場面で自己決定する機会が少ない。	・「その日したいこと」を全職員で把握し、出来るだけ多く実現させていく。 ・日々の暮らしの中で利用者様が自己決定できるように支援する。	・「その日したいこと」「今したいこと」「これからしたいこと」を利用者様から聞き取る。 ・出来ることはすぐ行う。 ・実現に向けて準備が必要なことは、職員間で協力して取り組む。 ・いろいろな場面で自己決定できるように選択肢を掲示して選んでもらうなど、自己決定が表出しにくい利用者の方に対しても決定できる場面を作る。	12 か月	
2	28	・利用者様一人ひとりの活動意欲を触発する馴染みの物品が、いつでも手に取れるように生活空間の中にさりげなく置かれていない。 ・もっと整理整頓する必要がある。	・本や雑誌、趣味のものなど、利用者の方が興味をもって気軽に手に取ることができるような環境を作る。 ・整理整頓する。	・各ユニットで環境整備について話し合い、一人ひとりの力が活かせる環境作りを行う。 ・環境整備を行った後の変化を職員間で共有し、必要な改善を行いながら継続的に環境作りを行う。	12 か月	
3	36	・感染症や対応方法について勉強会を行っているが、実践的な訓練を行っていない。	・感染症マニュアルに沿って勉強会の中で実践的な訓練を行う。	・研修計画を立てる。 ・感染症マニュアルの見直しを行う。 ・感染症マニュアルに沿って実際に訓練する。	6 か月	
4	42	・人事考課を年に2回行い、個人目標を立てているが、OJTを計画的に行っていない。 ・法人外の研修への参加がコロナウィルス感染症流行に伴い困難になっている。 ・職員のストレス軽減のための環境づくりをもっと行う必要がある。	・個人目標に沿ったOJTを計画し実行する。 ・研修の機会を作る。 ・職員がもっとやりがいを感じて働くことができるようにする。	・個人面談を行い、職員個々に年間のOJT計画をリーダー会で話し合い、実践する。 ・eラーニングなど、外部に出向かなくても研修できる場を見つけ参加する。 ・出来る限り職員の思いに耳を傾け、問題やストレスを抱え込まないようにする。	12 か月	
5	39	・コロナウィルス感染症流行に伴い、地域行事が中止になったり、これまで交流していた方々との対面的な交流ができなくなっている。	・つながりが途切れないように、何かできることをする。	・隣近所の方と出会ったときは気持ちよく挨拶を行う。 ・事業所便りの配布を行う。 ・3か月に一度、ネットワークの構築について出来ることはないか話し合い、実行する。	12 か月	

注1) 項目番号の欄については、自己評価項目のNo.及び小項目のアルファベットを記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		
実施段階		取 り 組 ん だ 内 容 (↓該当するものすべてに○印)
1	サービス評価の事前準備	○ ①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		②利用者へサービス評価について説明した
		○ ③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		⑤その他()
2	自己評価の実施	○ ①自己評価を職員全員が実施した
		②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		○ ④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		⑤その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	○ ①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		○ ②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		○ ③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		④その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	○ ①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		○ ③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		⑤その他()
5	サービス評価の活用	○ ①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		○ ②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		○ ③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		⑤その他()